

Management

トップインタビュー

2013年3月期第2四半期業績は「IP軸戦略」効果で増収増益に

エンターテインメント業界で最も重要な年末年始商戦がいよいよ始まります。今回は2013年3月期（2012年度）第2四半期連結累計期間の業績と、年末年始商戦に向けた各事業の動向、戦略商品などについて、(株)バンダイナムコホールディングスの石川祝男社長に聞きました。

— 第2四半期連結累計期間（上半期）の業績を総括してください。

石川 2012年度上半期は、コンテンツ事業が好調だったほか、玩具ホビー事業も堅調に推移し、第1四半期の流れを維持することができました。この結果、2012年度上半期の業績は、売上高2,226億円、営業利益277億円、四半期純利益173億円となり、前年同期および第1四半期業績公表時の見込みを上回ることができました。

事業別概況では、玩具ホビー事業は、国内で「仮面ライダー」シリーズや「スマイルプリキュア！」などの定番キャラクター玩具に加え、「機動戦士ガンダム」シリーズなどのプラモデル、大人向けの商品などが好調でした。新キャラクター投入に向けた先行投資などで、国内全体では前年同期には及びませんでした。中期計画における「国内事業圧倒的No.1戦略」を着実に推進しました。海外では、北米で「Power Rangers」シリーズが人気だったほか、アジア地域でもプラモデルと大人向け商品が好調でした。

コンテンツ事業では、「IP*軸戦略」が、業務用ゲーム機、家庭用ゲームソフト、景品、映像音楽コンテンツ、ネットワークコンテンツ、そして

パチンコ・パチスロ向けの液晶基板販売など、すべてのカテゴリで効果を発揮しました。特に「機動戦士ガンダム」シリーズや「ワンピース グランドコレクション」を中心にソーシャルゲームが業績に貢献しました。

アミューズメント施設事業は、国内の既存店売上が、近場のレジャーとして着目され好調だった前年同期に及びませんでした。

通期の連結業績予想については、上半期実績と足元の市場や事業の動向を踏まえ精査し、売上高4,550億円、営業利益400億円 当期純利益230億円としました。まもなく年間最大の年末年始商戦が始まりますので、各事業でしっかりと計画を達成できるように全力を尽くしていきます。（詳細は4ページを参照）

— コンテンツ事業が回復した理由は何でしょうか？

石川 2010年からのリスタートプランを機に、「IP軸戦略」を推進してきましたが、その考え方が定着してきたことが要因です。体制面では、それまではIPの出口別の組織で単独の商品・サービスに取り組んできましたが、主要IPごとにプロデューサーを設置するIP軸の組織に移行しました。



(株)バンダイナムコホールディングス代表取締役社長 石川祝男

現在はIP軸の組織で、全ての出口を視野に入れ、3年計画でIPのポテンシャルを最大限に引き出せるように開発・マーケティングプランを進めています。これにより、最も適したタイミング、出口、地域、ターゲットに向け、商品・サービスを展開することができるようになってきました。この2年間でノウハウを蓄積できたこと、ソーシャルゲームという新たな出口で「IP軸戦略」が実績をあげることができたことで、現場がより貪欲になり、良いサイクルに入っています。今後は、玩具ホビー事業、アミューズメント施設事業も含めたダイナミックな展開を進めていきます。— トイホビー事業の状況を聞かせてください。

石川 9月にスタートした「仮面ライダーウィザード」の商品展開が前作を上回る良い立ち上がりとなりました。今回は、指輪の「ウィザードリング」を事業間連動アイテムにし、メインアイテムの変身ベルトと武器とも高い人気を集めています。

(次ページに続く)

* IP: キャラクターなどの知的財産

ソーシャルゲームの開発・運営ノウハウを蓄積し安定的に収益に貢献

女兒向けでは、アイドルオーディションをテーマにした(株)サンライズ制作のTVアニメ「アイカツ!」と完全連動したデジタルカードゲームが順調なスタートを切りました。(株)ナムコの施設に専用コーナーを設けたり、(株)バンダイナムコゲームスからゲームソフトを発売するなど、グループの戦略IPとして力を入れていきます。また、3年ぶりにたまごっちの新本体「Tamagotchi P's」を投入しました。プロモーションにも力を入れ、女兒向けのシェアを拡大したいと思います。

このほか、乳幼児向けの知育教育玩具「BabyLabo」や「BlockLabo」が売場に定着してきたほか、大人向けの展開も強化しています。来年1月には、従来のターゲットのさらに上となる60～70歳代をターゲットにした「大人の超合金 南極観測船 宗谷」を発売します。国内については、引き続きすべてのカテゴリーで圧倒的なNo.1を目指していきます。

— 海外のトイホビー事業は？

石川 北米では「Power Rangers」が売場を拡大し、多彩な商品ラインナップも好評で、手応えを感じています。2013年スタート予定の「Power Rangers MEGA FORCE」も、この勢いを続けていきたいですね。2012年から「Power Rangers」など主要IPのブランドマネジメントを欧米

一体で行っています。北米での成功事例を欧州に導入するなど連携を図り成果に結びつけていきます。

また、TVアニメ「BEN10」の新シリーズが始まりましたので、欧米のトイホビー事業におけるもう1つの柱として育成していきます。

新成長領域として位置づけているアジアは、「日本発アジア一気通貫強化戦略」が功を奏しています。日本主体で、プラモデルと大人向け商品をコントロールする組織に変更したことで、よりきめ細かい売り場作りやイベント実施などのマーケティングが可能になりました。今後は一気通貫戦略をさらに進め、デジタルカードマシンの展開地域拡大や、新規IP投入などを行っていきます。

— コンテンツ事業はどうですか？

石川 (株)バンダイナムコスタジオの設立から半年が経過しました。この間、他社からの大型タイトルの受注や、自社開発のソーシャルゲームの投入など、スタジオとしての機能をしっかりと果たしており、満足しています。今後は最大のミッションである新規IPやフランチャイズの立ち上げに、力を入れていきます。

カテゴリー別の概況では、業務用ゲーム機では従来の定番シリーズに加え、エアホッケーなど新たな切り口のもの投入し定番化を目指した展開を行っています。景品と1番くじは、IPラインナップ拡大により、安定した収益をあげているほか、人気の1番くじは台湾でも商品ラインナップと販路を拡大しています。映像音楽コンテンツは、「機動戦士ガンダムユニオンタイガー & バニー」など厳選した優良タイトルによる展開を進めています。最近では邦画「アウトレージ・ビヨンド」もヒットしましたし、新規タイトルにも挑戦してい

ます。「黒子のバスケ」の映像ソフトのように、我々の強みを生かせるタイトルを展開していきます。

また、家庭用ゲームソフトでは、「AKB1/149 恋愛総選挙」のように旬のIPをスピーディに投入するタイトル、「鉄拳」や「テイルズ オブ」シリーズのように開発力を生かしじっくりつくりこむタイトル、「機動戦士ガンダム バトルオペレーション」のようにパッケージ販売後にアイテム課金を行う運営型タイトル、それぞれのIP特性とユーザーニーズに合わせたアプローチを行います。

— ネットワークコンテンツの現状は？

石川 ソーシャルゲームは2012年10月末で登録会員数2,850万人を超え、安定的に推移しています。また、NTTドコモさんの新サービス「dゲーム」向けにタイトルを配信するなど、コンテンツの提供会社として、新たな出口には積極的に挑戦していきます。ソーシャルゲームは、2010年末の参入以来、試行錯誤を続けながら、継続して楽しんでいただける運営のノウハウを蓄積してきました。そこに強力なIPを融合することで、安定したビジネス展開ができるようになりました。今後はソーシャルゲームだけでなく、オンラインゲームのラインナップも強化していきます。

— アミューズメント施設事業は？

石川 上半期は前年同期を下回りましたが、IPの活用による差異化された施設展開や、ナムコ・ナンジャタウンのキャラクターイベントのノウハウを活かした期間限定店舗の展開など、バンダイナムコらしい創意工夫を続けています。ところで、ナムコの旗艦店の1つであるナムコ・ナンジャタウンが2013年1月に休園し、夏にリニューアルオープンします。テーマパークで培ったノウハウと、キャラクターイベントで培ったノウハウを活かした新たな仕掛けを考えていますので、ご期待ください。



アジア(台湾)の売り場
©創通・サンライズ・MBS

「IP軸戦略」を加速させるため 一気呵成に攻めていく

—アジアでの政情不安の影響はありましたか？

石川 現時点では業績への影響は軽微です。生産面では、2013年にトイホビーの新工場をフィリピンで稼働させることを決めましたが、これはグローバル展開強化に伴う生産キャパシティ増強が主な目的です。また、アジアにおける生産の一極集中を避

けるため、トイホビーだけでなくコンテンツでも、生産地域の分散を図っています。今後も慎重かつ柔軟に対応したいと思います。

—今後の抱負を聞かせてください。

石川 お陰さまで、上半期は良い結果を残せましたが、今後については決して楽観視していません。環境変化や競争はますます激しくなってい

ますので、常に危機感と緊張感を持ち、取り組みたいと思います。事業面では、グループの「IP軸戦略」を加速するため、現場に権限と責任を持たせ、波が来た時には一気呵成に攻めていきます。

2012年度は中期計画の初年度です。今後中期戦略を良い形で進めるためにも、初年度の計数計画を着実に達成し、中期計画で掲げた目標である営業利益425億円を1年でも早く達成したいと思います。

CSR Topics

社会貢献活動

「バンダイナムコの森」で 森の保全活動と地域交流活動を実施

(株)バンダイナムコホールディングスは、森の里親となっている長野県志賀高原の「バンダイナムコの森」での活動の一環として、2012年10月に森の保全活動と地域交流活動を実施しました。

森の保全活動には、バンダイナムコグループ各社より約20名の社員が参加。「バンダイナムコの森」の遊歩道沿いの下草刈り、枝の間伐作業などを行いました。また、地域交流活動として、グループのバンダイビジュアル(株)が製作参加している映像作品「ももへの手紙」上映会を実施しました。今後もバンダイナムコホールディングスでは、「バンダイナムコの森」を森林保護と理解につながる場として、定期的にさまざまな活動を実施します。



リハビリテーションマシン 「国際福祉機器展」に出展

バンダイナムコグループならではの福祉事業を展開する(株)いかや(河村吉章社長)と、九州大学病院リハビリテーション部が企画・プロデュースを行い、(株)サイが開発・製造販売を行うリハビリテーションマシン*「ドキドキへび退治II」(今冬発売予定)が、9月26～28日に開催された「国際福祉機器展」に、出展されました。

「ドキドキへび退治II」は、運動機能や脳機能の活性化を目的に企画され、いたずらするへびをモチーフに、出現するへび型ターゲットを踏み得点を競うゲーム機器です。会場では機器のデモンストレーションに加え、九州大学病院リハビリテーション部診療准教授の高杉紳一郎氏が、「ドキドキへび退治II」で測定した筋電図や脳血流の測定結果をもとに、医療の現場から見たゲーム効果について説明を行いました。



「ドキドキへび退治II」(イメージ)

*リハビリテーションマシンとは、エンターテインメントの要素を取り入れ、高齢者や障害のある方が楽しみながら機能回復やトレーニング効果が得られることを目的としたゲーム機器

株主優待制度による寄付金額のご報告

2012年3月末日現在のバンダイナムコホールディングス株主名簿に記載、または記録されている株主様の株主優待制度において、約700名の株主様に寄付を選択いただきました。当社からの寄付金額と合わせ、合計1,000万円を公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンに寄付します。

この寄付金は、東日本大震災被災地の子ども達への支援活動資金として活用される予定です。バンダイナムコグループでは、今後も被災地の子ども達に向けた活動など、復興に向けた支援活動を中長期的に継続していきます。

2013年3月期 第2四半期 連結累計期間の業績

コンテンツ事業が業績に大きく貢献
トイホビー事業も定番キャラクターが堅調に推移

バンダイナムコホールディングスは、このほど2013年3月期第2四半期連結累計期間の業績を発表しました。事業面においては、コンテンツ事業がIPを軸とした連動展開により、ネットワークコンテンツを中心に業績に大きく貢献し、トイホビー事業も定番キャラクター玩具を中心に堅調に推移しました。

各事業の状況は以下の通りです。

<トイホビー事業>

国内では、「仮面ライダー」シリーズや「スマイルプリキュア！」などの定番キャラクター商材による玩具を軸としたカテゴリーの連動展開が好調でした。また、「機動戦士ガンダム」シリーズに加えて、小学生男児向けの「ダンボール戦機」が人気となったプラモデルや、大人向けのコレクション性の高い玩具などが好調に推移しました。なお、国内全体では、「スーパー戦隊」シリーズが好調だった前作に及ばなかったこと、新キャラクター投入へ向けて広告宣伝費等の先行コストを計上したことな

どにより、前年同期の業績には及ばなかったものの、中期計画の戦略を着実に推進しました。

海外では、欧米における収支改善を目指すなか、「Power Rangers」シリーズの商材の販売が順調でした。また、アジア地域においては、日本と連動した展開により、キャラクター玩具に加えて、プラモデルや大人向けのコレクション性の高い玩具が人気となりました。

<コンテンツ事業>

ネットワークコンテンツが、「機動戦士ガンダム」シリーズや「ワンピース グランドコレクション」などのソーシャルゲームを中心に業績に大きく貢献しました。また、「機動戦士ガンダム エクストリームバーサス フルブースト」や人気キャラクターの景品を中心に、業務用ゲーム機販売が好調に推移しました。さらに、「機動戦士ガンダムUC^{ユニオン}」や過去に発売した映像パッケージのリピーター販売が好調だった映像音楽コンテンツ、パチンコ・パチスロ向けの液晶基板販売も業績に貢献しました。

家庭用ゲームソフトでは、国内においてPS3向けダウンロード専用タイトルの「機動戦士ガンダム バトルオペレーション」が人気になるとともに、米国地域において「ソウルキャリバーV」「NARUTO-ナルト-疾風伝 ナルティメットストームジェネレーション」の販売が業績に貢献しました。

<アミューズメント施設事業>

国内では、ショッピングセンター内でキャラクターの世界観を体感できる差異化した店舗を中心に堅調に推移したものの、好調に推移した前年同期と比べて、既存店売上高が94.6%となりました。

海外では、厳しい市場環境のなか、店舗の選択と集中による効率的な運営により、ほぼ前年同期並の業績水準となりました。

2013年3月期通期の業績予想については、第2四半期累計期間の実績や各事業の直近の動向、さらに下半期の不透明な市場環境を踏まえ、2012年8月に公表した業績予想を表の通り修正します。

◆2013年3月期 第2四半期 連結累計期間の連結業績

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
第2四半期	222,610	27,753	28,075	17,320
前年同期増減率	14.6%	76.1%	75.7%	115.8%

◆2013年3月期通期の連結業績予想

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想 ('12年8月公表)	455,000	36,500	36,500	21,500
今回予想 ('12年11月公表)	455,000	40,000	40,000	23,000

◆2013年3月期 第2四半期 連結累計期間セグメント別実績

(単位:百万円)

事業分野	売上高	セグメント利益
トイホビー	80,411	6,451
コンテンツ	116,686	20,136
アミューズメント施設	29,872	1,051
その他	12,867	1,289
消去・全社	▲17,227	▲1,175
合計	222,610	27,753

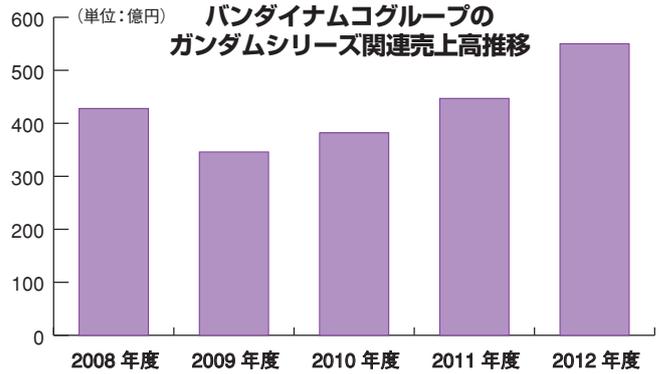
※見通しに関してはさまざまな前提に基づいたものであり、記載された将来の予想数値や施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

安定的に推移するバンダイナムコグループのガンダムビジネス

バンダイナムコグループの(株)サンライズが製作するガンダムシリーズは、1979年にTVシリーズ第1弾「機動戦士ガンダム」を放映して以来、緻密な科学考証と設定、複雑に織り成す人間ドラマにより、「リアルロボットアニメ」という新ジャンルを確立。今日に至るまで高い人気を維持しています。

映像面では、これまでにTVアニメーション14作品、劇場長編14作品、OVA13作品を製作。高品質な映像に加え、「機動戦士ガンダムUC^{ユニオン}」では劇場上映、映像配信、パッケージソフト販売をほぼ同時に行うクロスメディアを展開するなど、新たなビジネスモデルに挑戦し続けています。

商品面では、グループ各社がプラモデル、フィギュア、ゲームソフト、業務用ゲーム機、ソーシャルゲーム、映像ソフトなど幅広いカテゴリーで商品展開を行い、ガンダムの世界観を盛り上げています。最近では、2012年4月に情報発信の場「ガンダムフロント東京」をオープンしたほか、Webサイト「GUNDAM INFO」を活用し、アジアに向けた情報発信も積極的に実施。ガンダム関連売上高は、グループ全体で



※2012年度は11月時点の見込み。今年度よりソーシャルゲームのガンダム売上高を合算

300～400億円前後で安定的に推移しています。

なお、ガンダム戦略の責任者として、(株)バンダイの上野和典社長がCGO(チーフ・ガンダム・オフィサー)に就き、最適なタイミングで映像と商品の相乗効果を発揮させるため、グループ横断戦略を推進しています。今後は、幅広いファン層に向けて、各年代に合わせたアプローチを継続するとともに、新たな層の開拓に挑戦し、グループの重要IPとして長期的に安定展開を図ります。

Portrait

現場から

「仮面ライダーウィザード」の玩具が好調なスタート

株式会社バンダイ ボーイズトイ事業部 ライダーチーム リーダー 西澤 清人

9月のTV放映開始に合わせて販売を開始した「仮面ライダーウィザード」の玩具が、好調な出足です。今回は(株)バンダイのボーイズトイ事業部で企画開発を担当する西澤清人に話を聞きました。

Q ライダーチームの役割は？

A ライダーチームには現在8人が所属しており、商品開発やマーケティングだけでなく、番組と商品の綿密な連携を図るため、映像制作を行う東映さんとのやりとりや、撮影現場の方々との各種チェック、事業カテゴリーを横断し商品連動を行うためのグループ内や社内の調整など、さまざまな業務を担当しています。

Q 「仮面ライダーウィザード」が好調な出足ですね。

A おかげさまでTVの視聴率、商品販売ともに好調です。「仮面ライダーウィザード」でも、「仮面ライダー」シリーズで人気の連動アイテムをマーチャンダイジングの中心に据え、玩具、玩具菓子、カプセル自販機、アパレルなど、さまざまな商品を展開する仕組みを導入しています。

番組が「魔法使いライダー」ということで、連動アイテムは不思議でコレクション性があるもの、そして普段、子ども達なかなか触らせてもらえないものということで、指輪(ウィザードリング)になりました。商品の発売前は、指輪というアイテムが男児に受け入れられるか不安視する声もありましたが、実際に発売すると「指輪が格好いい」という意見が非常に多く、人気です。「仮面ライダー」シリーズの連動アイテムでは、初めて身につけられるという点も良かったのではないのでしょうか。

Q 商品展開について教えてください。

A 従来のシリーズは、連動アイテムと変身ベルトを中心とした展開でしたが、今回は「ウィザードリング」を核に、変身ベルトと武器を2本柱として展開していきます。変身ベルト「DXウィザードライダー」や武器「DXウィザードソードガン」のデザインは、シャープなデザインのヒーローと対比して、手形をモチーフにしたインパクトある斬新なものになっています。商品化にあたっては、番組同



2003年入社
メディア部コンテンツプロジェクトとキャラクタータートイ事業部の兼任、カード事業部などを経て、2008年より現職

©2012 石森プロ・テレビ朝日・ADK・東映

様的高级感や質感、重厚感、そして思わず口ずさんでしまう変身音や効果音を忠実に再現するため、素材や色、ギミックなどの商品仕様については、時間が許す限り徹底的にこだわりました。また、番組に登場するモンスターを商品化した「プラモンスター」シリーズでは、小さなお子さまでもプラモデルの組み立て感を味わうことができるように、プラモデルのランナーのようなプレートをつけ、組み換え可能な仕様になっています。

Q 読者にメッセージをお願いします。

A 「仮面ライダーウィザード」は良い流れでスタートできましたが、さらに皆さまを驚かせる仕掛けを多く用意しています。今後も変化に素早く対応できるよう臨機応変に、さまざまな展開を行います。どうぞご期待ください。

TVアニメと連動したデータカードダス「アイカツ!」稼働中

(株)バンダイ(上野和典社長)は、TVアニメ「アイカツ!」(サンライズ制作、毎週月曜日19時半〜/テレビ東京系列)と連動したデータカードダスの新タイトル「アイカツ!」(1プレイ カード1枚:100円)を稼働中です。これは憧れのアイドル活動が体験できるデジタルカードゲームで、トップアイドルを目指すアニメの主人公さながらに、ゲームを通じてNo.1アイドルになる喜びが体験できます。また、「スペシャルコラボパートナー」として、AKB48の板野友美さんを起用し、CMやイベントなどさまざまなコラボレーション企画を実施。玩具、玩具菓子、カプセル玩具、生活雑貨、ゲームソフトなどの関連商品も11月より発売しており、小学生女児をメインターゲットとしたオリジナルコンテンツとして、グループ全体で盛り上げていきます。



©SUNRISE/BANDAI,DENTSU,TV TOKYO ©BANDAI 2012

「TAMASHII NATION 2012」開催

バンダイは、大人に向けたコレクターズアイテムの祭典「TAMASHII NATION 2012-5TH ANNIVERSARY」を10月26〜28日に秋葉原UDXで開催しました。これは毎年、ファンに向けた情報発信の場として開催している大型イベントで、6回目を迎えた今回は、注目の新商品展示に加え、バンダイのコレクターズアイテムの未来を提案する企画展示を実施。約1万8,800人のファンが来場しました。

イベントの前日には、報道関係者を招いたレセプションを開催。ディズニーのキャラクターたちが合体する新しい超合金ロボット「超合金 超合体キングロボ ミッキー&フレンズ」(2013年3月下旬発売予定、13,440円)の披露や、タレントの嗣永桃子さん(愛称:ももち)を迎えたトークショーを実施し、商品の魅力をアピールしました。バンダイでは今後も大人向け市場を開拓し、売上拡大を目指します。



レセプションに登壇したバンダイの上野和典社長と嗣永桃子さん ©Disney

「GUNDAM Café」3号店オープン

バンダイが東京・秋葉原と台場で運営しているガンダムのオフィシャルカフェ「GUNDAM Café」の3号店「GUNDAM Café 東京駅店」が、東京駅一番街(八重洲地下中央口改札横)に12月20日オープンします。

「GUNDAM Café 東京駅店」では、秋葉原の「GUNDAM Café」でお馴染みの「シャアザク・カレー」(890円)、「ジャブローコーヒー」(340円)など約70種のフードとドリンクのほか、「シリコンコースター」(380円)などのグッズやオリジナル商品を販売します。バンダイでは、多くの人々が利用する東京駅で、「GUNDAM Café」を通じ、ガンダムの世界観に触れ、楽しんでいただきたいと考えています。



GUNDAM Café 東京駅店
営業時間10:00〜22:30(年中無休)
※画像はイメージです
©創通・サンライズ

モンスーノDXバトルセット

発売中/株)バンダイ 4,725円

TVアニメ「獣旋バトル モンスーノ」に登場するモンスター「モンスーノ」のバトル遊びができるセット。モンスーノフィギュア4体、モンスーノコア(フィギュアを収納するケース)4個、モンスーノID(キャラクター情報を記載したカード)4枚と、バトルスタジアム(バトル専用フィールド)1個がセットになっています。セット商品のモンスーノフィギュアとモンスーノコアは全て限定のメタリックカラー仕様で、モンスーノIDもセット限定のスペシャル能力仕様です。



TM&©2012 Pacific Animation Partners LLC
"Monsuno" TM&©2012 JAKKS Pacific, Inc. All Rights Reserved.

2WAYボードゲーム 逃走中&戦闘中

発売中/株)バンダイ 3,990円

フジテレビ系列の人気番組「run for money 逃走中」と「battle for money 戦闘中」を再現したボードゲーム。ゲーム盤はリバーシブルになっており、盤の表と裏を使って「逃走中」「戦闘中」の2種類のゲームが遊べます。フジテレビとの共同開発により番組の世界観と緊張感溢れるゲーム展開をリアルに再現。2〜5人用で、友達や家族で揃って楽しめます。



©フジテレビジョン

Exploring Lab.1/700 地球深部探査船「ちきゅう」

発売中/株)バンダイ 5,985円

“知の魅力”を伝える理工系プラモ「Exploring Lab.」シリーズの第4弾として、JAMSTEC(海洋研究開発機構)が開発・保有する地球深部探査船「ちきゅう」が1/700スケールの精密プラモデルで登場。世界最深の海洋科学記録海底下2,466mからのサンプル採集に成功した「ちきゅう」の姿をリアルに再現しました。外観はもちろん内部まで細部にわたり忠実に再現し、心臓部である内部にあるライザーシステムは、外装パーツの着脱により完成後も内部構造を確認することができます。



©JAMSTEC

ファミリー向け「namcoアピタ敦賀店」「namcoヨークタウン市名坂店」オープン

(株)ナムコ(橋正裕社長)は、ファミリーで気軽にゲームを楽しむことができるアミューズメント施設「namcoアピタ敦賀店」(福井県敦賀市)を10月11日に、「namcoヨークタウン市名坂店」(宮城県仙台市)を11月5日にオープンしました。

今回オープンした施設は、ファミリーのお客様に人気の高い景品ゲーム機や乗り物などを数多く取り入れ、ワクワク感を届ける構成となっています。店舗内は、明るく入りやすい雰囲気で、“かっこいい・おもしろい・やさしい”を提供できるエンターテインメント施設を目指しており、オープン記念としてバンダイナムコグループならではの人気キャラクターが登場する子ども向けイベントを開催しました。



namco アピタ敦賀店



namco ヨークタウン市名坂店

「花やしき」でクリスマスと正月にイベント開催

(株)花やしき(弘田昭彦社長)が運営する「浅草花やしき」で、12月23～24日に特別ナイト営業「よるはな」を開催します。通常18時に閉園する遊園地が、21時まで機種限定で乗り放題となり、スカイツリーや浅草寺のライトアップなど、ロマンチックな夜を楽しむことができます。また、正月には、眺めの良い屋上「プラ坊神社」の初詣がお勧めです。「笑顔の花・幸せの花」を咲かせる、球根の形をした神様は、良縁・玉の輿にご利益があるかもしれません。ステージでは、笑運閣のお殿様と仲間たちが繰り広げる「謹賀笑乱 ハナハナ玉手箱」ショーを開催予定です。



ナンジャタウンがリニューアルのため1月15日より一時休園 再開園は来夏予定

“思い出とトキメキのテーマパーク”「ナムコ・ナンジャタウン」は、リニューアルのため2013年1月15日より一時休園することになりました。リニューアルオープンは2013年夏を予定しており、リニューアル後の施設詳細については、改めて発表する予定です。なお、ナムコ・ナンジャタウンでは一時休園までの間も、現在開催中のイベントをはじめ、クリスマス、年越しカウントダウンなど、イベントを続々開催して盛り上げていきますので、ご期待ください。



●「チーズ餃子祭り」開催中

ナムコ・ナンジャタウンの「池袋餃子スタジアム」で、「チーズ餃子祭り」を2013年1月14日まで開催中です。餃子によく絡み付き、コクと旨みを与える“チーズ”を使った極上の餃子を、ご当地餃子の名店全11店が考案。写真の鉄なべ荒江本店「鉄なべチーズ餃子」(8個で680円)は、クツクツと煮立ったチーズにカリッと焼き上がった名物餃子を絡めて食べるアツアツ餃子です。



アミューズメント施設 横断キャンペーン情報

「ナムコ ONE PIECE FILM Z キャンペーン」 (2013年1月27日まで開催中)

世界的なメガヒットアニメ「ONE PIECE」映画最新作「ONE PIECE FILM Z」の12月15日公開を記念して、ナムコ直営のアミューズメント施設約200店舗で「ナムコ ONE PIECE FILM Z キャンペーン」を開催中です。

キャンペーンでは、ナムコ限定景品が登場するほか、キャンペーン参加者にナムコ限定描き下ろしイラストを使用したノベルティを配布します。さらに、ナムコの公式モバイルサイト「ナムコアミューズメントナビ」で、バンダイナムコゲームスの新作PSP用ソフト「ワンピース ROMANCE DAWN 冒険の夜明け」が当たるプレゼント応募を実施しています。



©尾田栄一郎/2012「ワンピース」製作委員会

「ナムコ 劇場版 仮面ライダーウィザード&フォーゼ キャンペーン」 (2012年12月8日～2013年1月14日開催)

仮面ライダーウィザードと仮面ライダーフォーゼが競演する仮面ライダーの劇場版最新作「仮面ライダー×仮面ライダー ウィザード&フォーゼ MOVIE大戦 アルティメイタム」の公開を記念し、ナムコ直営のアミューズメント施設約150店舗でキャンペーンを開催します。ナムコ限定景品が登場するほか、キャンペーンの参加者にオリジナルノベルティの配布を行います。

また、対象のクレーンゲーム機に500円投入ごとに「劇場版仮面ライダークリアファイル」と「応募ハガキ」を配布。「応募ハガキ」で応募すると、抽選で「仮面ライダーウィザードがやってくる」(特賞/1名)や、仮面ライダーの玩具が当たります。



©「ウィザード&フォーゼ」製作委員会 ©石森プロ・テレビ朝日・ADK・東映

ドコモの新サービス「dゲーム」向けに 新規ゲーム「英雄スピリッツ」などを配信

(株)バンダイナムコゲームス(大下 聡社長)は、NTTドコモが11月下旬よりサービスを開始した「dゲーム*」向けに、新規ゲーム「英雄スピリッツ」と「熱戦!バトライブ」を開発。サービス開始と同時に、「英雄スピリッツ」に加え、「仮面ライダーレジェンド」「テイルズ オブ キズナ」の計3タイトルを配信しています。バンダイナムコゲームスでは、NTTドコモの新サービスを有力なコンテンツ出口の1つと位置づけ、今後も積極的にオリジナルゲームの開発を進める予定です。



*「dゲーム」は「dマーケット」に新設されたサービスでソーシャルゲームを中心に提供 ©NBOI

「東京ゲームショー2012」に出展

9月20～23日に幕張メッセで開催された「東京ゲームショー2012」に、バンダイナムコゲームスと(株)ディースリー・パブリッシャー(伊藤裕二社長)が出展しました。バンダイナムコゲームスのブースでは、テレビ局のスタジオに見立てたメインステージとサブスタジオを設置し、製品プロデューサーのインタビュー映像の放映や、ステージイベントなどを連日開催。「テイルズ オブ エクシリア2」や「鉄拳タッグトーナメント2 Wii U EDITION」など、40タイトル以上を出展。ステージの様子は、インターネットでリアルタイム配信されました。また、物販コーナーでは、会場先行販売商品やオリジナル商品を多数販売。ファミリーコーナーでは子ども向けタイトルを多数出展し、多くの家族連れに楽しんでいただきました。



「湾岸ミッドナイト マキシマムチューン4」 全国大会を開催

バンダイナムコゲームスは、業務用ゲーム機「湾岸ミッドナイト マキシマムチューン4」の全国大会「日本最速王座決定戦2012」を10月27日に品川インターシティホールにて開催。4,000人以上が参加した店舗予選を勝ち抜いた48人が一堂に会し、「日本最速」の座をかけて熱いバトルを繰り広げました。

会場には、「悪魔のZ」とファンから親しまれている、湾岸ミッドナイトの主人公・朝倉アキオが運転する初代「フェアレディZ」実車のほか、原作の原画、シリーズ往年のグッズなどを展示。また、シリーズのBGMを手掛ける古代祐三氏によるスペシャルDJライブの開催に加え、フリープレイコーナーや開発メンバーと対戦できるコーナーも設置。全国から集まった大勢のファンが楽しめるイベントとなりました。

©Michiharu Kusunoki/Kodansha Ltd. All rights reserved. ©2011 NAMCO BANDAI Games Inc.



Wii用ソフト「太鼓の達人Wii 超ごうか版」

発売中/株)バンダイナムコゲームス
太鼓とパチ同梱版:7,980円、ソフト単品版:5,040円

「太鼓の達人」の最新作がWiiに登場。昨年発売したWii用ソフト「太鼓の達人Wii 決定版」の曲目をほぼ総入れ替えし、今年の人気曲など100曲を収録しました。また、「ドラゴンクエストX」や「ドラえもん」などの人気キャラクターたちが登場して演奏を盛り上げてくれる楽曲も多数用意。さらに曲のリズムに合わせて太鼓を叩く演奏ゲームのほか、30種類以上のお祭りゲームが遊べるモードも収録。家族そろって楽しめる要素がより充実しています。



©2012 NAMCO BANDAI Games Inc.
©2012 ARMOR PROJECT/BIRD STUDIO/SQUARE ENIX All Rights Reserved.

ソーシャルゲーム「ガンダムキングダム」

今冬配信開始予定/株)バンダイナムコゲームス
バンダイナムコゲームスがスマートフォン専用ソーシャルゲームとして「mobage」向けに配信する本作は、(株)ディー・エヌ・エーとの共同出資会社(株)BNDeNA(鶴之澤伸社長)が開発。スマートフォンならではの美しいグラフィックで「機動戦士ガンダム」の世界観を表現したハイスペックソーシャルゲームです。今後もバンダイナムコゲームスとBNDeNAは、家庭用ゲームとソーシャルゲームの開発ノウハウを融合し、簡単な操作で本格的なハイスペックソーシャルゲームの開発・運営を進めます。



©創通・サンライズ ©創通・サンライズ・MBS

AM用景品「スマイルプリキュア! DXFガールズ フィギュアスペシャルver.~プリンセスハッピー~」

12月上旬投入予定/株)バンプレスト
バンプレストは、全国のアミューズメント施設に向けて、造形・彩色・表情などの一切を高水準に保った「スマイルプリキュア! DXFガールズフィギュア スペシャルver.~プリンセスハッピー~」を12月上旬より投入します。アミューズメント景品としては初登場となるパワーアップフォームのキュアハッピー。ゴールド塗装のティアラや、クリアパーツにパール塗装を施したドレスなど、細部にまでこだわった最新作です。



©ABC・東映アニメーション

バンダイビジュアルが製作参加する 新作アニメ3作品が1月より放送開始

バンダイビジュアル(株) (川城和実社長) が製作参加するアニメ3作品が新春1月より続々と放送されます。

あべ美幸原作の「八犬伝—東方八犬異聞—」(角川書店『CIEL』連載) が待望のTVアニメ化。総監督を「薄桜鬼」シリーズのヤマサキオサム、監督を山崎みつえ(『輪るピングドラム』副監督) が務め、アニメーション制作はスタジオディーンが担当します。

そのほか、「ニコニコ静画」で全31話が総再生数1,000万回を突破し、現在、「ジャンプSQ.」(集英社) で好評連載中のヘタレ勇者とDS戦士による本格ギャグファンタジー「戦勇。」や、新世代アイドルプロジェクトとして話題の「ラブライブ!」(下記参照) も2013年1月より放送が開始されます。

©2013 あべ美幸・角川書店/八犬伝プロジェクト
©春原ロビンソン/戦勇。製作委員会



「八犬伝—東方八犬異聞—」



「戦勇。」

スクールアイドルプロジェクト 「ラブライブ!」のTVアニメ化決定

月刊誌「電撃G's magazine」(アスキー・メディアワークス) と、バンダイナムコグループの(株)ランティス (井上俊次社長)、(株)サンライズ (内田健二社長) による合同プロジェクト「ラブライブ!」のTVアニメ化が決定し、2013年1月より放送が開始されます。

「ラブライブ!」は、9人の美少女キャラクターが自分たちの学校を救うため、「スクールアイドル」となり奮闘するというストーリー。「電撃G's magazine」誌上などで実施したユーザー投票結果が、ユニット名やプロモーションビデオのセンターポジションに反映されるなど、ユーザーの声を積極的に取り入れた展開で話題のプロジェクトです。

ランティスからは、作品に登場するアイドルグループと同じ「μ's」(ミューズ) 名で、出演声優によるユニットのCDを好評発売中です。μ'sは2013年1月3日に東京ドームシティホールで、ニューイヤーライブを行うなど精力的に活動しています。なお、アニメーション制作は、サンライズがCD特典のプロモーションビデオに引き続き担当します。



©プロジェクトラブライブ!

<http://www.lovelive-anime.jp/>

Blu-ray「COWBOY BEBOP Blu-ray BOX」

12月21日発売/バンダイビジュアル(株)
初回限定版: 36,750円、通常版: 26,250円

1998年にTV放送された傑作SFアニメ「COWBOY BEBOP」が、15周年を迎えた今年、初めてBlu-ray化され、豪華ボックス仕様で発売されます。初回限定版には、シリーズ構成を務めた信本敬子による書き下ろし小説、オープニングと第1話、エンディングの絵コンテの決定稿などが付属します。また、映像特典として、ファン待望の新作映像である渡辺信一郎監督のディレクションクリップとピクチャードラマ「アインの夏休み」を収録。音声特典としてキャストによる新規オーディオコメントリーを収録しており、キャラクターデザインを手がけた川元利浩の新規描き下ろしBOXに収納されます。



©サンライズ

DVD「ウルトラマン みんなでシュワッチ!」シリーズ

第1弾: 12月21日、第2弾: 2013年3月22日発売
バンダイビジュアル(株) 各1,890円

ウルトラマンがお届けするキャラクター教養DVDシリーズがスタートします。動物や乗り物といった子ども達が大好きな人気ジャンルを、地球に探検にきたウルトラマン達が紹介。12月には、ウルトラセブンが消防署を訪問する「平和をまもるのりものたち」と、ウルトラマンがサファリパークを探検する「どうぶつ大集合!」の2商品を発売。2013年3月には、「はたらくのりもの」「海のいきもの」をテーマにした2商品が発売されます。



©円谷プロ

CD「magic words」(寺島拓篤)

発売中/(株)ランティス 2,000円

圧倒的な人気を誇る男性声優、寺島拓篤が贈る待望の1stシングルがついに発売されました。6月にファーストアルバム「NEW GAME」をリリースしてソロデビューした後、7月22日に開催した赤坂BLITZでの初ワンマンライブを超満員にし、歌唱力とライブパフォーマンスの才能を披露しました。そのライブのダイジェストと、今回収録される曲のPVを収めたDVDが同梱されます。



ゲームとネットワークを融合し 新たな市場を開拓する

バンダイナムコグループのソーシャルゲーム事業や、オンラインゲーム事業などのネットワークコンテンツビジネスが、グループにおけるIP（キャラクターなどの知的財産）の新たな出口として好調に推移しています。今回は、グループのネットワーク事業の現状と今後の戦略について、(株)バンダイナムコゲームスの浅沼誠上席執行役員に聞きました。

— ネットワークコンテンツビジネスの状況を教えてください。

浅沼 ネットワークコンテンツビジネスというと、以前は携帯電話コンテンツが中心でしたが、PC向けオンラインゲームに加え、近年SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）向けのソーシャルゲームが急速に普及するなど、ビジネスの幅が大きく広がっています。それに加え、ゲーム専用機もネットワークでつながることで、従来は完全に別のものであったゲームとネットワークが切り離せない関係となっています。

— バンダイナムコゲームスではIP軸組織を採用していますね。

浅沼 端末の性能が向上しゲームとネットワークの融合が進んできたことで、従来のように家庭用ゲーム、業務用ゲーム機、ネットワークコンテンツといった出口別の縦割り組織が意味をなさなくなってきました。2010年度にIPを軸とした体制に移行したことで、IPの価値を最大化するために最適な出口とタイミングは何か、ユーザーは何を求めているのか、という視

点で商品・サービスの戦略を立て、スピーディに動くことができるようになりました。ソーシャルゲーム市場にいち早く参入することができたのも、このIP軸組織の効果だと思えます。

— ソーシャルゲームが好調です。

浅沼 2010年末に「ガンダムロワイヤル」で本格的にソーシャルゲーム市場に参入しました。ガンダムシリーズやワンピース、アイドルマスターなどタイトルラインナップを増やし、2012年10月末時点の登録会員数は約2,850万人を超えました。ここ数年で市場が急成長した要因は、携帯電話などの端末で、いつでも手軽にゲームを楽しむことができるという敷居の低さにあると思います。よく家庭用ゲームのユーザーがソーシャルゲームに移行したと言われますが、私はそうは思いません。バンダイナムコゲームスの家庭用ゲームタイトルもヒットしています。ゲームを手軽に楽しみたいという新たなユーザー層がプラスオンされ、ゲームユーザーの層が広がっているのだと思いま

す。ソーシャルゲーム市場は、今後も端末の進化やユーザー嗜好の変化に伴い、さまざまに形を変えながら、1つの遊びとして支持され続けるのではないのでしょうか。

— バンダイナムコグループならではの強みは何ですか？

浅沼 1つは、バンダイナムコグループが活用できるIPが持つ魅力です。さらに、それに家庭用ゲームや業務用ゲーム機の開発で蓄積したノウハウが融合し、ソーシャルゲームというプラットフォームでIPのファンに支持されるコンテンツの提供と運営ができてきているということだと思います。バンダイナムコグループのIP軸戦略が、ソーシャルゲームでも力を発揮しています。

また、事業分野を超えて横断展開ができるのも、幅広い分野でビジネスを手がけるバンダイナムコグループならではの強みです。例えば、家庭用ゲームやプラモデルの特典に、ソーシャルゲームで使えるシリアルナンバーを同梱したり、バンダイの玩具菓子から生まれたIP「神羅万象」をPC向けオンラインゲームで連動させるなど、SBUをまたいだ展開も積極的に拡大しています。

— 今後の新作を教えてください。

浅沼 2011年10月に(株)ディー・エヌ・エーとの共同出資で設立した(株)BNDeNAが開発した第2弾タイトル「ガンダムキングダム」の配信が今冬から始まります。我々が持っているな



ソーシャルゲーム
「ガンダムロワイヤル」



ソーシャルゲーム「仮面ライダーウォーズ」



ソーシャルゲーム
「ワンピース グランドコレクション」



PS3 オンライン専用ゲーム
「機動戦士ガンダム バトルオペレーション」

©創通・サンライズ ©創通・サンライズ・MBS
©石森プロ・テレビ朝日・ADK・東映ビデオ・東映 ©2011 NBGI
©尾田栄一郎/集英社・フジテレビ・東映アニメーション ©NBGI
©創通・サンライズ

かったソーシャルゲームのノウハウを吸収しながら、スマートフォンの高機能性に合った本格的なゲームを開発しており、ビジュアル面の進化

にも注目していただきたいですね。そのほか、さまざまな有力IPタイトルを導入予定です。

各プラットフォームでファンの期待に応える 最適なゲームコンテンツを提供していく

—オンラインゲーム事業の進展は？
浅沼 2009年に株バンダイナムコオンラインを設立し、それまでばらばらだったオンラインゲームのリソースを1社に集約しました。PC向けオンラインゲームは比較的市場が安定しており、家庭用ゲームや業務用ゲーム機と並ぶ事業に育てようと注力しています。今冬には、バンダイナムコオンラインが開発している最大104人が同時対戦可能なアクションゲーム「機動戦士ガンダムオンライン」が、サービス開始予定で、大変期待しています。

—家庭用ゲームでも運営型のビジネスモデルに挑戦していますね。

浅沼 今年の6月にサービスを開始したPS3向け無料オンラインゲーム「機動戦士ガンダム バトルオペレーション」が、予想を超えるヒットとなっています。家庭用据え置き機専用で、基本無料のオンラインゲームは業界初の試みで、まだまだゲームの可能性にはいろいろなものがあると気づかされました。課金の方法も、これまで主流だったアイテム課金の割合を減らし、1日のプレイ回数に上限を設けて、それを超えてプレイする場合に課金するなど、新しい方法を取り入れており、これが人気の要因の1つとなっています。このほかに

も、パッケージソフト販売後にネットワークを活用し継続的にアイテム販売などを行うことで、ソフト売り切り型から、運営型のタイトルが増えるなど、ネットワークとゲームの融合による取組みが広がっています。

—プラットフォーム戦略について教えてください。

浅沼 NTTドコモさんが新設した「dゲーム」に、「英雄スピリッツ」など3タイトルの配信を開始します。有力なプラットフォームの1つとして、今後も積極的にオリジナルゲームの開発を進めていく予定です。我々はコンテンツホルダーですから、コンテンツのファンが活用している安心・安全なプラットフォームには、プラットフォームメーカーさんと連携しながら、きちんとコンテンツを提供していくことが基本的な姿勢です。そしてファンの方々に、プラットフォームに合った面白いゲームを提供し、少しでも期待を上回る喜びを感じてもらうことが重要だと考えています。

—ネットワークコンテンツビジネスの今後の戦略は？

浅沼 ゲームとネットワークの組み合わせは、これからもっと発展・成熟していくと思います。その時に、ただゲームとネットワークを組み合わせるのではなく、どのIPで、どんな



■浅沼 誠上席執行役員のプロフィール

<経歴>
1986年4月 株ネットワーク入社
1988年 株ネットワークと株バンダイとの合併に伴い、バンダイ入社
2000年10月 ネットワーク事業部門の分社化に伴い、バンダイネットワークス(株)入社
2006年6月 バンダイネットワークス取締役
2009年4月 バンダイネットワークスと株バンダイナムコゲームスとの合併に伴い、バンダイナムコゲームス入社、執行役員NE事業本部 副本部長
2011年4月 バンダイナムコゲームス上席執行役員 第二事業本部 本部長

遊びを提供したら、ユーザーが面白いと感じてくれるかを考え、実際に開発していくのが我々の最大のミッションです。ゲームとネットワークの融合によって、ユーザーの期待の半歩先、一歩先を行くような、新しいコンテンツやビジネスモデルをバンダイナムコが発で開発・創出したいと思っています。また、バンダイナムコグループが活用できるIPには、海外でも人気のタイトルがたくさんあります。プラットフォームメーカーさんと一緒に検討しながら、海外展開についても積極的に進めていきたいですね。

編集後記

早いもので、まもなく年末年始商戦本番を迎えます。バンダイナムコグループでは、さまざまな事業分野で戦略商品・サービスを投入していきます。売り場やイベント、施設で、バンダイナムコグル

ープの元気を感じていただけるよう、社員一丸となり取り組みます。

グループ内では年末年始商戦と並行し、すでに2013年のビジネスに向けた準備や仕込みを行っています。私たちを取り巻く環境の変化はますます激しくなってい

ますが、知恵と工夫を絞り、お客様を驚かせる仕掛けを次々打ち出すことができよう努力し続けたいと思います。

引き続きご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願いたします。

広報IR担当

バディゾードLT-06 DXタテガミライオー

発売中／オープン価格

(株)バンダイ

「特命戦隊ゴバスターズ」(毎週日曜日7:30～、テレビ朝日系列で放送中)に登場するロボ。ロボ型、ライオン型、トライク型の3モードに変形します。ロボ型は全高約300mm、ライオン型は全長約500mm、トライク型は全長約430mmと、全てのモードがビッグスケール。全モードで、光る、鳴る、回るギミックを搭載しており、音声は必殺技や咆哮など全11種が楽しめます。別売りの「バスターマシンCB-01 DXゴバスターエース」(5,040円)と連動し、ライオン型とトライク型時には、「DXゴバスターエース」が搭乗可能です。また、別売りのバスターマシン3体と合体し、「ゴバスターライオー」が完成。さらにバスターマシン5体と合体して「ゴバスターキング」が完成するなど、従来のバスターマシンと連動した充実の合体遊びが楽しめます。



ロイヤルクロック

発売中／9,240円

(株)バンダイ

「スマイルプリキュア！」(毎週日曜日8:30～、ABC・テレビ朝日系列で放送中)に登場するアイテムで、キーアイテムである「キュアデコル」全種を読み取って遊べます。タッチセンサーを搭載した文字盤を指でなぞると、液晶画面に絵が浮かび、セットした「キュアデコル」の種類や遊びに応じてカラフルに光ります。「ロイヤルレインボーキュアデコル」を本体にセットして文字盤をなぞり、上部の「ロイヤルジュエル」を押すと、音声と光の演出で、プリキュア5人と妖精のキャラクター・キャンディが繰り出す最終パワーアップ攻撃のなりきり遊びが楽しめます。

なりきり遊びのほかにも、「キュアデコル」を使って7つのミニゲームで遊べる「からくり時計遊び」や、キャンディが時間を教えてくれる機能、別売りの「カラフル変身!スマイルパクト」との通信遊びなど、楽しい遊びが盛りだくさんです。「ロイヤルレインボーキュアデコル」のほか、計7個の「キュアデコル」が付属しています。



PS3専用ソフト「テイルズ オブ エクシリア2」

発売中／8,380円

(株)バンダイナムコゲームス

全世界累計販売本数1,400万本を突破した『テイルズ オブ』シリーズの最新作。2011年に発売したシリーズ15周年記念タイトル「テイルズ オブ エクシリア」より1年後の世界を舞台に新たな物語を描いており、新主人公「ルドガー・ウィル・クルスニク」の行動や言動を、プレイヤー自身が選択肢によって切り拓いていきます。戦闘システムは、前作を踏襲しつつも、さらにパワーアップして遊びの幅が広がる新システムを搭載し、戦略性に富んだバトルを楽しめます。

テーマソングは、前作に引き続き浜崎あゆみさんが担当。アニメーションムービーも、前作でハイクオリティなアニメーションが話題を呼んだufotable(ユーフォーテーブル有限会社)が担当しています。また、「テイルズ オブ カフェ」の期間限定オープン、「ナムコ・ナンジャタウン」や「オートサロン アムラックス東京(池袋)」とのコラボレーションに加え、全国の「ローソン」で発売記念キャンペーンを行うなど、プロモーション施策も大幅に増強して実施。シリーズ新作タイトルの発売を盛り上げました。



Blu-ray・DVD「映画クレヨンしんちゃん 嵐を呼ぶ!オラと宇宙のプリンセス」

発売中／Blu-ray:6,090円(初回限定版)、5,040円(通常版)
DVD:3,990円

バンダイビジュアル(株)

全世界45か国以上で放送される大人気アニメ「クレヨンしんちゃん」。記念すべき映画第20作目としてシリーズ初の宇宙を舞台とし、約320館で公開された本作が、ついにBlu-rayとDVDで発売されます。映画しんちゃんの特徴の一つであるスペシャルゲストとして、映画しんちゃんと同じくデビュー20周年を迎えたタレントのココリコ、土田晃之、藤井隆、そしてキャスター界の「しんちゃん」羽鳥慎一が本人役で登場。主題歌をAKB48のメンバーからなる渡り廊下走り隊7が担当し、話題となりました。

本作はシリーズ初のBlu-rayとDVDの同時リリースとなり、Blu-ray初回限定版には歴代しんちゃん映画20作分のオープニングと予告をすべて収録した「20周年記念DVD」のほか、キャスト陣からの映画20周年お祝いメッセージをまとめた「20周年おめでとうメッセージ集」を付属します。

